

シンポジウム

薬草産業の将来展望

産官学(医学・薬学・農学・法学)の連携による新たな事業創造

日時：7月12日(金) 13:00 開場 / 13:30開演

会場には12:30より入場できます

会場：星陵会館 2階ホール

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-16-2 TEL 03-3581-5650

料金：シンポジウム参加費：5,000円 懇親会参加費：4,000円

我が国の薬草自給率は13%にすぎず、中国からの輸入が80%を超えている。需要が増大している中国薬草は輸出規制の可能性があり、中国、韓国は国家戦略として自国の伝統医療を国際標準とする活動を強化している。我が国の医療の特徴は最先端医療と漢方医療が融合した世界で類のない統合医療のモデルであるが、我が国の漢方医療の発展のためには良質の国産薬草増産が不可欠である。しかし、薬草・生薬はこれまで学問と行政の狭間にあり、品種改良、栽培技術等は他の農作物に比して遅れている。

本シンポジウムは、薬草が農産物と異なり適正な価格形成の場である市場が存在しないなかで、薬草の生産者と実需者をどのようにマッチングさせるか、植物工場のイノベーションは生薬、サプリメント等の原料としての薬草栽培にどのような影響を与えるのか、薬価基準、漢方薬をめぐる法律的課題等を、慶應義塾大学環境情報学部教授の渡辺賢治先生、千葉大学名誉教授の古在豊樹先生のお二人による基調講演と、医学・薬学・農学・法学の専門家と富山で薬草栽培に従事している農業者が、パネルディスカッションを行い、産官学(医学・薬学・農学・法学)の連携による新たな事業創造を示唆するものである。

シンポジウム「薬草産業の将来展望」(医学・薬学・農学・法学の連携)

■シンポジウム 13:30開演～16:45終了

【1】基調講演

- 渡辺賢治 慶應義塾大学教授
「なぜ今、生薬産業なのか」
- 古在豊樹 千葉大学名誉教授、NPO植物工場理事長
「薬草栽培の将来展望」(施設栽培から植物工場まで)

【2】パネルディスカッション

- | | | |
|--------------|------|-------------------------|
| 医学 | 渡辺賢治 | 慶應義塾大学教授 |
| 農学 | 古在豊樹 | 千葉大学名誉教授 |
| 薬学 | 川原信夫 | (独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター長 |
| 法学 | 中島 肇 | 桐蔭横浜大学法科大学院教授・弁護士 |
| 薬草生産
現場から | 松本規幸 | 富山県薬草栽培農家 |

<講演者・パネラー・司会者の略歴>

- 渡辺賢治 慶應義塾大学教授
慶應義塾大学医学部内科、スタンフォード大学、漢方医学センター長等歴任、日本東洋医学会副会長、和漢医薬学会、日本漢方医学研究所等理事、厚生労働省社会保障審議会委員、WHO国際疾病分類改訂委員会委員(伝統医学部会共同議長)
- 古在豊樹 千葉大学名誉教授
千葉大学園芸学部長、同学長を歴任、NPO植物工場理事長、日本生物環境工学学会最高顧問他、米国培養生物学会生涯業績賞等受賞
- 川原信夫 (独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター長
アルバータ大学博士研究員、国立医薬品食品衛生研究所生薬部室長を歴任、厚生労働省薬事・食品衛生審議会委員、日本生薬学会学術貢献賞受賞等
- 中島 肇 桐蔭横浜大学法科大学院教授・弁護士
最高裁判所書記官研修所事務局長、東京高等裁判所判事等を歴任、原子力損害賠償紛争審査会委員、全国銀行協会あっせん委員会小委員長、司法試験委員他
- 松本則幸 富山県薬草栽培農家
富山県JAなのはな営農指導員、販売部長、経済部長を歴任、現在、水稻他3.8haを栽培、昨年からおタネニンジン、トウキを受託生産
- 加藤一郎 (株)ジュリス・キャタリスト代表取締役
JA全農代表理事専務、日中韓FTA産官学共同研究委員などを歴任、農業経営法務研究会座長他
- 杉本佳代 (株)ジュリス・キャタリスト代表取締役
川口市議会議員、医療福祉法務研究会他

■懇親会 17:00～19:00(星陵会館4F レストラン・シーボニア)

お問い合わせ

(株)ジュリス・キャタリスト 担当 日野・保田
TEL 03-5654-7121 FAX 03-5654-7122
<料金 シンポ参加費:5,000円 懇親会参加費:4,000円 申込書は別紙>

主催 (株)ジュリス・キャタリスト 後援 中島肇法律事務所 協力 (株)商事法務 農業協同組合新聞